



2021年4月13日

各位

会社名 株式会社エルテス
代表者名 代表取締役社長 菅原 貴弘
(コード番号:3967 東証マザーズ)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 松林 篤樹
(TEL. 03-6550-9280)

通期連結業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2021年1月12日に公表した、2021年2月期(2020年3月1日～2021年2月28日)の通期連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社の連結子会社である株式会社エルテスカピタルは、2021年2月期第4四半期(2020年12月1日～2021年2月28日)において、投資有価証券評価損を特別損失として計上することといたしましたので、あわせてお知らせいたします。

1. 2021年2月期通期連結業績予想と実績との差異(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,970	△350	△370	△400	△77.07
今回実績額(B)	1,989	△333	△357	△529	△102.02
増減額(B)－(A)	19	16	12	△129	
増減率(%)	1.0	－	－	－	
(ご参考) 前期通期連結実績 (2020年2月期)	1,963	186	174	86	16.77

(連結業績予想と実績との差異の理由)

当第2四半期連結累計期間の売上高、営業損失、経常損失につきましては、概ね通期連結業績予想どおりに推移いたしました。

一方で、2021年2月25日に「本社オフィスの一部解約に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、新しい働き方への改革やそれに伴うオフィスの最適化を進める過程で、本社オフィスの一部解約が取締役会で決議されました。縮小するオフィスの賃貸借契約解約損等について、公表時には特別損失として130百万円を計上する見込みでしたが、本日現在において入手可能な情報に基づき再度見積りを行った結果、特別損失のオフィス再編費用を98百万円計上しております。

さらに、2020年7月14日に公表いたしましたとおり、連結子会社株式会社エルテスキャピタルは、第1四半期連結会計期間において、特別損失として投資有価証券損を19百万円計上しておりますが、次項に記載のとおり、第4四半期連結会計期間においても投資有価証券評価損30百万円を計上することになりました。

そのため、親会社に帰属する当期純損失が529百万円となり、公表予想値と実績との間に差異が発生するに至りました。

2. 特別損失の計上について

連結子会社である株式会社エルテスキャピタルが保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落したものについて、2021年2月期第4四半期において、減損処理による投資有価証券評価損30百万円を特別損失として計上することいたしました。

以 上